

大会名称: 第23回FIBA ASIA U-18男子バスケットボール選手権大会

開催場所: Al Gharafa Sports Club (カタール・ドーハ)

試合区分: No. 140 男子 決勝ラウンド・準々決勝 コミッショナー: ALSUBAEY Mohd Ali

期 日: 2014(H26)年8月26日 (火)

主審: YUEN Chun Yip

開始時間: 13:00

副審: CHUANG Chih-Chun, YANTE Reynaldo

終了時間: 14:30

<b>韓国</b> (通算6勝1敗)	○ <b>90</b>	16 -1st- 20 20 -2nd- 14 28 -3rd- 7 26 -4th- 20 -OT1- -OT2- -OT3-	● <b>61</b>	<b>日本</b> (通算5勝3敗)
-----------------------	----------------	--	----------------	-----------------------

第23回FIBA ASIA U-18男子バスケットボール選手権大会。日本は、決勝トーナメント、準々決勝は韓国との対戦。日本は#4津山、#35角野、#8内田、#13渡辺、#15三上、韓国は、#5Jang、#8Jeon、#10Byeon、#13Kim、#15Songのスタートメンバーで共にマンツーマンでスタートする。

#### 第1ピリオド

立ち上がり韓国#5Jangがブレイクでドリブルで切れ込み先制するも、日本は#5角野がハイポストからワンドリジャンプシュート、#4津山がフリースロー、さらに#8内田がブレイクからレイアップを決め、開始2分43秒、6-2とリードする。韓国は早い段階でタイムアウトを取る。しかし、その後も日本は#15三上の連続3P、#5角野、#4津山が確実に得点を重ねる。韓国は日本のディフェンスをなかなか崩すことが出来ず思うように得点できない。残り3分10秒、#5Jangがブレイクからドリブルで崩してそのまま得点し、16-8となる。ここから#9Parkが3連続ゴールを決め、追い上げる。残り20秒、日本#8内田がドリブルで切れ込み20-14にするも、韓国は粘り#5Jangの外れたシュートを#13Kimがタップで押し込み、20-16、日本4点リードで終了する。

#### 第2ピリオド

立ち上がり日本は#8内田がジャンプシュート、#6本村が3Pを決め、さらに#8内田がドライブから得点する。韓国#5Jangが高い位置からハンドオフしてドリブルで切れ込み返すも日本#6本村がドリブルストップジャンプシュートを決め、開始3分18秒で29-18と日本が再びリードを広げる。韓国は2つ目のタイムアウトでディフェンスをゾーンに変える。すると日本のリズムが悪くなり得点が止まる。韓国は#13Kimがリバウンドシュート、#8Jeonがレイアップ、さらに#10Byeonが3Pを決め31-27、日本4点リードとなる。今度は日本がタイムアウト。タイムアウト後、韓国は#13Kimがフリースローと#10Byeonのドライブからの合わせを決めて残り2分47秒31-31と同点とする。すぐさま日本#15三上が3Pを入れ返すも、最後は、#10Byeonがリバウンドからパワーで押し込み、34-36、韓国2点リードで折り返す。

#### 第3ピリオド

日本はマンツーマン、韓国は1-1-3のマッチアップゾーンでスタートする。逆転して終わった韓国は#10Byeonのドライブから#13Kimが合わせて先行する。すると#8Jeonがゴール下、#5Jangがドライブインと立て続けに得点する。日本はメンバーチェンジやタイムアウトを取り、打開しようと試みるが思うように得点が決まらない。開始2分25秒、34-46、韓国が12点リードする。日本は、ディフェンスをゾーンに変える。#5角野、#13渡辺が得点するもあとのシュートが決まらず追いつくことが出来ない。韓国は#15Songがローポストから1on1や走ってブレイクから得点を重ねる。少しずつ点差を広げ、41-64、韓国が23点リードして終了する。

#### 第4ピリオド

点差を縮めて何とか追いつきたい日本は2-2-1から2-1-2のゾーンで入るが立ち上がり#8Jeonに連続3Pを決められる。日本はすぐさま#15三上が3Pを入れ返す。日本はディフェンスをチェンジングさせながら必死のディフェンスで韓国の攻撃を止めに行くがリバウンドを思うように取ることが出来ず#12Packlにジャンプシュート、#8Jeonにゴール下を押し込まれ、さらに#4Kwonに連続で得点され、差を縮めることが出来ない。日本は#4津山が果敢にドライブして得点したり、交代で出場した#14福岡がペイント内で頑張り、リバウンドや得点に絡む。ゲームは、そのまま進み61-90で韓国が勝利。

この結果、日本は決勝トーナメント準々決勝敗退で、5位8位決定戦に回る事が決まった。

担当: 公益財団法人日本バスケットボール協会